

長野県生涯学習推進センター

生涯

学習

NAGANO

2021 Spring

No. 68

- ◆ 令和3年度 研修講座のご案内
- ◆ さまざまな地域課題に視点をおき、学びが広がっています
～オンライン講座開催に力を入れました!～
- ◆ 地域づくり推進研修「地域づくりの支え手入門講座」
～昨年度新企画として、県内各地で開催しました～
- ◆ キラリ! 地域で活躍する公民館〔東御市公民館〕
- ◆ お知らせ 令和2年度研修講座 DVD貸し出し中!

ヒマラヤユキノシタ

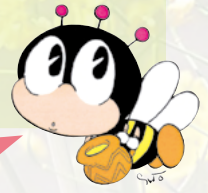


生涯学習のマスコット
“マナビィ”

令和3年度 研修講座のご案内

地域社会が抱えるさまざまな課題解決に向け、一步を踏み出す人材や住民自身が主役となる実践活動をリードできる人材を養成するために、新テーマ・新講師を多数お迎えして開催します。

また、センター（塩尻市）までは遠く、受講が難しい地域へ出向き、現地機関と連携し、地域課題をテーマとした「移動講座」を多数設けました。より多くの学びが広がるよう、講座の充実を図っています。



受講料無料!
受講、
お待ちしております!

… 地域づくり推進研修

… 地域の教育力向上研修

… 地域と学校の連携推進研修

… 地域開放

5/20(木) 発達障害のある人は、どのような歩みをして大人になっていくのか

託児あり

～様々なライフステージにわたる支援を考える～

今年度も信州大学医学部の本田秀夫先生をお招きし、成人期までの様々なライフステージでどのような育てかたや支援をしていくことが望ましいのか、自閉症スペクトラムのある人に焦点をあててお話しいたします。発達障害研究の第一人者として、国内外で活躍されている本田先生のお話を1日お聞きできる貴重な機会です。

講師 信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室 教授 本田 秀夫 氏



6/29(火) ネット社会に生きる子ども達の自覚と自立を目指して

新講座

Society 5.0、GIGAスクール構想、コロナ禍での新しい学習方法など、今や子どもとネットは切っても切れない関係となっています。便利なツールである一方、依存症などの健康被害やネットトラブルといった問題が懸念されています。子どもたちの現状を知り、ネットの弊害から子どもを守るために、私たち大人が今できることを学びます。

講師 静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾 氏



5/30(日) 駒ヶ根市

災害からの復興と公民館

近年大規模自然災害の発生や、新型コロナウイルス感染拡大により、人と人とのつながりづくり自体がむずかしくなっています。本講座は、被災地の復興に果たす公民館や地域の役割を研究されている講師より、災害発生時や復興時の地域の取組を振り返るとともに、これからの地域づくりやそれに資する公民館活動のあり方を考えます。

講師 東北大学大学院教育学研究科 准教授 日本公民館学会 副会長 石井山 竜平 氏



8/21(土) みんなでポッチャ♪

新講座

ニュースポーツとして人気のポッチャは、年齢や性別、障がいの有無を問わず、誰でも参加できる競技です。今年開催予定のパラリンピックでも日本選手の活躍が期待されるこの競技を体験し、楽しむ機会とします。

※施設開放「チャレンジしのめ塾」の講座として開催しますので、ご家族揃って参加できます。申込不要。

講師 体育センター 専門主事



6/3(水) 松本市

生涯学習推進者実践講座 ぶらっと楽しむまちづくり ～松本のまちづくりに学ぶⅢ～

県内各地では特色あるまちづくりが行なわれています。古いまちと新しいまちが混在する松本市。この講座では、都市計画家の倉澤聡さんを講師にまちづくりの視点やノウハウを学ぶとともに、水や歴史、地形、伝統技能、街路樹、看板など、様々なものをテーマに中心市街地を歩きます。

講師 都市計画家 倉澤 聡 氏



8/24(火) “ともに生きる”を目指して

新講座

新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの暮らしに大きな影響を与えています。また、ふだんの暮らしのしあわせをつくるための「福祉教育」が注目されています。本講座では諏訪市出身の原田正樹先生をお迎えし、共に生きる力を育むための「福祉教育」の推進について、講義と事例発表等を通して考えます。

講師 日本福祉大学社会福祉学部 教授 原田 正樹 氏



6/8(火) 防災！～一瞬の判断と備え～

近年、経験したことのない自然災害が全国各地で発生しています。阪神・淡路大震災の体験をもとに、東京大学と連携し最新線の防災研究をされている講師をお招きし、日頃から備えておくべきことや、地域での人と人との繋がりの大切さを考えると同時に、演習を通じて学校を避難所に想定した災害時の対応について学びます。

講師 兵庫県広域防災センター防災教育担当 東京大学生産技術研究所リサーチフェロー 田中 健一 氏



公民館基礎・社会教育講座

5/24(日) 安曇野市

8/26(火) 伊那市

令和4年 2/13(日) 茅野市

生涯学習・社会教育の意義や公民館の果たすべき役割といった公民館の職員として知っておきたい基礎的な知識を学ぶとともに、地域づくりを推進する中心的な役割を担う公民館職員の意識の高揚とスキルアップを図ります。

県内各地区で開催して、公民館職員・公民館関係者の地域ネットワークの形成を支援します。

講師 長野県生涯学習推進センター所長 木下 巨一 長野県生涯学習推進センター公民館支援専門員

「地域づくりの支え手入門講座」は、P6をご覧ください。

今年度注目！新講座

9/21

託児あり

「子どもの不安をケアする」

子どもが抱える心の問題の深刻さが、さまざまな形で報告されています。この講座では、子育て支援のための認知行動療法を専門とする講師をお招きし、幼児期から思春期までの不安や緊張が高い子への支援、また、怒りをコントロールしストレスに負けない心と体について、講義と演習を通して学びます。

講師 信州大学教育学部 准教授 高橋 史 氏

心療内科クリニックにて勤務し、うつ病、強迫症、摂食障害、社交不安症、全般不安症といった精神疾患を抱えながら子育てをしている大人や、うつ・不安・怒りといった気分の問題で困っている子どもを、認知行動療法によってサポートしてきた。また、応用行動分析を主な手法として、幼児から中学生の行動問題の解消や発達障害対応、周囲の大人へのサポートも行ってきた。

現在は、信州大学心理教育相談室にて、相談業務を行っている。また、「子育て支援のための認知行動療法」について積極的に研究を進めており、アメリカやカナダなど諸外国にも活動の場を広げている。



10/5 ~ 7
うち条件のよい1日

秋のスターウォッチング

～土星・木星と秋の星座を見つけよう！～

この秋は、新月で月あかりの少ないなかで「秋の四辺形」や「アンドロメダ座」などの代表的な秋の星座を見つけたり、土星の環・木星の縞模様を観測します。普段体験することのできない50cm大望遠鏡での観測や、塩尻星の会のみなさんから「星空解説」を受けながら秋の星空を学習する機会とします。



講師 「塩尻星の会」のみなさん
総合教育センター教科教育部 専門主事

11/12

長野県の子どもの自殺の現状と課題

～今、私たちにできること～

全国の自殺者数は減少傾向にありますが、未成年者の自殺者数はやや増加傾向にあります。県内では未成年者の自殺死亡率が全国の中でも高い水準にあり、子どもの自殺対策は喫緊の課題です。

本講座では、子どもの自殺の実態について理解を深めるとともに、私たちが小さな気遣いで日常的にできる支援について学びます。

講師 NPO法人自殺対策支援センター
ライフリンク 代表 清水 康之 氏



10/12

地域と学校で取り組む SDGs

地球的規模の環境問題など世界が直面する課題解決のためには、私たちひとりひとりの理解と身近な所からの行動が必要です。ESD(持続可能な開発のための教育)やSDGs(持続可能な開発目標)の理念や内容を学び、これからの学校教育や社会教育の場面で、私たちが「持続可能な社会」実現のためにできることを考えます。

講師 信州大学学術研究院 准教授 安達 仁美 氏
事例発表 長野県白馬高等学校
飯田市南信濃公民館



11/20

どんなときも自分らしく生きる 幸せ ～不思議なパン屋の哲学を通して～

新講座

日々の生活の中で「何かおかしいな」「本当にやりたいことは他にあるのに」と思うことはありませんか。ベストセラー『田舎のパン屋が見つけた「腐る経済」』の著者である渡邊 格氏を迎え、楽しい時間もつまらない時間も、経験したことすべてが自分の糧になるような「自分の時間を全部生きる」について考える機会とします。

講師 野生の菌で醸すパン、地ビール&カフェ
「タルマリー」オーナーシェフ 渡邊 格 氏



10/27

運動遊びを通してコミュニケーション スキルアップ！

託児あり

ネット社会の広がりに伴い、人間関係にぎこちなさを感じる人が多くなりました。レクリエーション・ゲームやグループワークを通して、まず、自分自身の行動を客観的に振り返ります。さらに、グループにおける自分の行動や声掛けの特徴に気づくことで、コミュニケーション力を磨く学習法を体験します。

講師 日本グループワークトレーニング協会
上級アドバイザー 犬飼 己紀子 氏



11/26

公民館の現代的役割を考える

～“温故創新” 草創期と今、そして未来をつなぐ～

少子高齢人口減少により、多くの地域が存続の問題を抱えています。一方地球温暖化が原因と思われる豪雨災害などが多発し、各地で復興・復興の取組が進められています。住民自身による郷土復興の拠点として誕生した公民館ですが、このように新たな課題が取り巻く現代の地域社会における、これからの公民館の役割とは何かを考えます。

講師 日本公民館学会 会長
日本体育大学スポーツマネジメント学部 教授 上田 幸夫 氏



生涯学習推進者実践講座

5/16日
安曇野市

10/2
南箕輪村

6/27日
木祖村

10/20
東御市



「地域づくり」を推進する方々が、自ら取り組もうとする課題の解決に向け、地域との連携・協働、仕組みづくりなど、より具体的に実践的な方法を習得することを目的とします。県内4地区で開催し、身近な地域の課題解決を考えるとともに、受講者が課題の発見から活動の仕組みづくりまでの実践力を身につける研修を行います。

子育て支援に関する講座

6月～7月
中川村
情報モラル

10/30
長野市
発達障害



子育て、親育ち、親子の絆、あるいは子育て支援のあり方等について考え合う学習を進め、子どもや若者、家庭を支援するために地域の大人としてできることを考えます。県内4地区に出向き、地域で求められる課題をテーマとした講座を開催します。

さまざまな地域課題に視点をおき、学びが広がっています ～学びが支える地域づくり・人づくり～



生涯学習推進センターでは、地域課題を講座の中心にすえ、県内外の先進的な事例に学び、各地域での即戦力として活躍できる講座の提供をしています。令和2年度は、コロナ禍のため、急遽、オンライン（Zoom）を活用して開催した講座が多くなりました。これからも、状況に応じた講座開催をし、学びを届けていきます。

地域づくり推進研修

10/7 水

長野県の子どもの自殺の現状と課題 ～私たちにできること～

会場 上田市・
講師 オンライン

講義：「子どもの自殺の現状と課題～いま私たちにできること～」

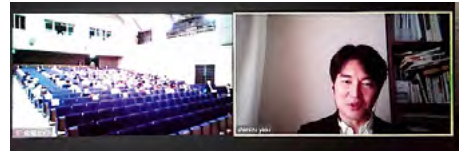
講師：NPO法人自殺対策支援センター 代表 清水 康之氏

県内では未成年者の自殺死亡率が全国の中でも高い水準にあり、子どもの自殺対策は喫緊の課題です。本講座では、子どもの自殺の実態について理解を深めるとともに、私たちが小さな気遣いで日常的にできる支援について学びました。講義を通して、自殺に至るまでの「近因」と「遠因」を理解することや、生きることの「阻害要因」より「促進要因」を増やすことが大切であることを知り、中学生に向けた「SOSの出し方授業」を通して、どのような姿勢で子ども達に接したらよいかを学ぶよい機会となりました。



◆感想◆

- 県の現状に危機感を初めて持つことができました。また、実際に子ども達（悩みを抱える若者）と向き合っている方の生の声を聴くことができて良かったです。
- 生きることの「促進要因」と「阻害要因」の関係図から自殺リスクの理解が深まりました。
- 今後、ゲートキーパーの研修に参加してもっと詳しく学びたいと思いました。将来を背負う子ども達のために、少しでも支えになっていけたらよいと思いました。



11/6 金

生涯学習推進者実践講座 ぶらっと楽しむまちづくり ～松本のまちづくりに学ぶⅡ～

会場
松本市街地



まちなかトラベル：松本市内

講師：都市計画家 倉澤 聡氏

まつもと市民芸術館前に集合し、はじめに講師から、まちや地域を読みとくヒントについて説明を受けました。その後、街中へ向かう道筋に見られる井戸や水路を巡り、ペラミ人形店や日本銀行松本支店、松本城などをたどりながら「まちなかトラベル」を満喫しました。テーマを決めてまち歩きを企画することを大切にして、学芸員や歴史家、樹木医といった専門家と一緒に歩くと気づきが多いまち歩きになるなど、具体的な方法も示してくださいました。参加者からは、「今まで気づけなかった歴史を再発見できた」等の感想が寄せられました。



◆感想◆

- 大変楽しかったです。松本地区の変遷がよく分かりました。すごく歴史を感じました。実際に目のあたりにした堀跡のくぼみが特に印象に残りました。
- 何気なく通りすぎてしまっていた街路樹や看板など、一つ一つに目を向ける機会と新しい発見に出会える機会をいただけて良かったです。満足です。
- 今回のコースは自分の地元であり、小さいころからよく遊んだ場所だったので、知らないことがたくさんあり、とても有意義な研修でした。

11/27 金

公民館の現代的役割を考える ～“温故創新”草創期と今、そして未来をつなぐ～

DVD
貸出あり

会場 センター・
オンライン

講義：「公民館の現代的役割を考える

～“温故創新”草創期と今、そして未来をつなぐ～

講師：日本体育大学スポーツマネジメント学部 教授

日本公民館学会 会長 上田 幸夫氏

事例発表Ⅰ：「地域と子どもたちをつなぐエゴマ栽培」

塩尻市広丘公民館 館長 三澤 深氏

事例発表Ⅱ：「子どもが自慢できる地域にしよう」

飯田市下久堅公民館・ひさかた未来塾 原 豊氏

パネルディスカッション：「支え手と担い手が語る、公民館の現代的役割」



◆感想◆

- 重点的に考える必要があったこと（専門部、分館、連携）が先生と同じであったので、これからの業務に自信を持つことができた。
- 地域づくりや子どもたちの育みに対し情熱あふれる事例で、まさに上田先生ご指摘の現代の公民館の役割の一つである「共同」と「交流」の場がこの2つにはあると思いました。
- 平和学習は民主主義教育（原点）につながっていること。長野県は、コミュニティスクールのマッチング機能を公民館が果たしている。多文化は新しい力を生む…等、新しい視点があった。特に飯田の取り組みを参考にしたい。

少子高齢人口減少により、多くの地域が存続の危機を迎えています。一方、地球温暖化が原因と思われる豪雨災害などが多発し、各地で復旧・復興の取組が進められています。そして本年は、コロナ禍により社会的孤立など様々な課題が顕在化しています。講義では、歴史を踏まえたこれからの公民館の役割についてお話いただき、塩尻市と飯田市の実践発表と、公民館の支え手役である両市公民館主事お二人が加わったパネルディスカッションを通して、新たな課題が取り巻く現代の地域社会における、これからの公民館の役割とは何かを学びました。

地域の教育力向上研修

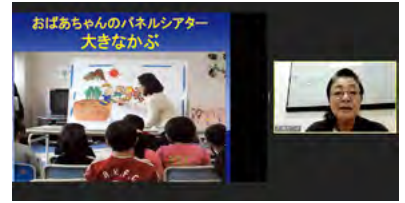
10/1 木 子育て支援に関する講座C (子ども理解)

DVD
貸出あり

会場 長野市・
講師 オンライン

講義：「子どもの命を愛しむ (おしむ)・育む、放課後子ども教室・児童クラブ」
講師：千葉県 元学童保育指導員 元養護教諭 石田 かづ子 氏

北信地区の放課後子ども教室及び放課後児童クラブ関係者を対象に、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるような放課後の居場所作りについて学びました。養護教諭、学童指導員として経験豊富な講師の先生より、学校とは違う、児童クラブでの子ども達の姿をどうとらえ、どう理解すれば良いのか、また、保護者との関係をどう築いていけば良いのか等、事例を交えてお話しいただきました。



◆感想◆

- 学童の指導員に寄り添ったお話で、大変勇気づけられ、これからの活動への活力になりました。様々な背景をもった子ども達の声を聞き、寄り添い、放課後の子ども達の居場所として機能できるようにがんばりたいです。
- 日々仕事で悩んでいること、考えている事を、例をあげてお話しいただきとても心にスーッと入ってくるお話でした。
- 深くあたたかい言葉で、子どもさんや保護者、支援員のことをお話しいただきました。現実に添ったお話でとても分かり易くて良かったです。

11/18 水 運動遊びで体とこころを育てる

DVD
貸出あり



実技：「“やる気・元気・根気”のコミュニケーション」
講義・演習：「“見取り・聞き取り・やりとり”のコミュニケーション」
講師：長野県レクリエーション協会
日本グループワークトレーニング協会 犬飼 己紀子 氏

生活習慣の変化に伴い、子どもたちの体力や運動頻度の変化が問題になっています。講義では「コミュニケーションには発信者と受信者の間におけるズレがある」ということや、自己肯定・他者肯定の大切さなど事例を交えてお話いただき、それぞれの立場で子どもへの関わり方を見つめ直す機会となりました。実技や演習では、運動遊びを通してどのような声掛けをしていくとよいのか、どのようにコミュニケーション能力が育まれるかをお話いただき、教育現場から職場まで、すぐに活用できる運動遊びやアイスブレイクを多数学ぶことができました。



◆感想◆

- 普段の指導の中で「何をやるのか？」に意識が先行してしまい、「どう伝えるのか？」について意識が少ないと感じることができた。
- グループワークトレーニングについて、その方法や活動の意味を初めて学ぶことができました。活動のポイントや声掛けの仕方など、具体的にお話しいただき、とても分かりやすかったです。
- 演題「こころを育てる」にととても納得できる講義でした。

地域と学校の連携推進研修

10/20 火 持続可能な社会づくりに向けた教育の新しい在り方

DVD
貸出あり

講義：「ESD / SDGsが育むつながりと持続可能な社会」
講師：信州大学学術研究院 人文社会教育学域教育科学系 准教授 安達 仁美 氏
事例発表Ⅰ：「学校・家庭・地域をつなぐ わくわく村」 高山村立高山小学校
事例発表Ⅱ：「学友林の整備を通じた世代間・地域交流」 塩尻市宗賀公民館

県内外のユネスコスクールの活動に深く関わってこられた講師をお迎えして、ESD (持続可能な開発のための教育) の理念や、SDGs (持続可能な開発目標) を視野に入れた教育の新しい在り方について学びました。SDGs の理念や今後の方向についての分かりやすい講義とワークにより、学校教育・社会教育の場で、私たちが向かうべき方向について考える機会となりました。また、地域と学校が連携して活動している特色ある取組を、学校と地域の双方から発表をお聞きした後、ワークショップでの意見交換を通じて、受講者それぞれのこれからの活動に、より具体的な指針を与えていただきました。



◆感想◆

- SDGs等知らなかったことを学習できた。地域づくりにこのような視点も必要であると感じた。
- 一人一人ができることを地域等、横の連携を大切にすすめていくことが今後は特に大切だとわかった。
- 地域と学校が協働して取り組む姿が、具体的な活動として示されていてよかった。



「地域づくりの支え手入門講座」を紹介!

この講座は、県内各地の地域課題に向き合う取組から、活動の成果や課題に学び、自らの地域活動につなげることをねらいとし、6回連続講座として開催しました。多彩なテーマ、様々な立場の人と共に学ぶことにより、活動に対する視野やつながりを広げることができました。そのなかで第2回と3回をご紹介します。

第2回 11/9日 会場：阿智村中央公民館 満蒙開拓平和記念館

実践発表Ⅰ：「自立を目指した清内路の取組」
元清内路村役場職員、現阿智村職員 **櫻井 祐介氏**
実践発表Ⅱ：「学びと自治と協働の村づくり」 元阿智村職員 **林 茂伸氏**
コーディネーター：社会教育・生涯学習研究所 所長 **細山 俊男氏**
現地研修：「満蒙開拓の歴史と村の取組から学ぶ」 ガイド **林 茂伸氏**



自立を目指した清内路の取組、学びを土台とした村民による自治の取組を支えてこられた実践発表者の話を通して、支え手の役割や備えについて学びました。併せて、満蒙開拓平和記念館を見学し、満蒙開拓の歴史と村の取組について学びました。

それぞれの取組を通して、自分たちの暮らす地域の在りたい姿について地域住民同士が学びあい、学んだことを活動につなげ、形にしていくプロセスについて理解することができました。また、そういう取組を支える自治体の仕組みや、職員の姿勢からもたくさんのことを学び取ることができました。



感想

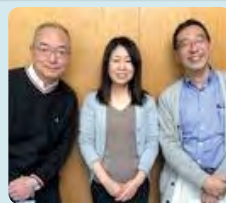
- 清内路のエネルギーが生まれるプロセスがわかった。
- 同じ問題を抱えている人と話題が共有できてよかった。今後役立てたい。
- 「文化」がある。心に残りました。
- 林さんの「職員の心の持ちようで住民が変わる」という言葉はとても胸に響きました。

第3回 11/30日 会場：長野市中条音楽堂

座談会：「先人から学び、これからの中条の支えあいについて考える」
実践発表者 第三次地域福祉活動計画策定委員 **小林 昭一氏**
第三次地域福祉活動計画策定委員 **小林 俊之氏**
コーディネーター：長野市中条住民自治協議会 地域福祉ワーカー **黒岩 秀美氏**
現地研修：「まめったい暮らしの原点に学ぶ」 **中条6区住民の皆さん**
コーディネーター：長野市中条住民自治協議会 地域福祉ワーカー **黒岩 秀美氏**



少子高齢人口減少が進む長野市中条地域ですが、「困ったことがあれば皆で集まり話し合う」そんな地域の風土が残っています。生活サポートグループ「なかちゃん」もそんな地域であるからこそ生まれた助け合いの仕組みです。元気で働き者で、そしてここでの暮らしを楽しみながら、この地で生きていくという生きざまを「まめったい」といいます。不便だけれど困ったことはない、そんな暮らしの実際と、「まめったい」暮らし・生き方を次の世代につなげていくための取組について学びました。



感想

- 助け合い活動の内容を知ることができ、大変参考になりました。これからの村の活動をどうするかが課題です。
- 男飲み会など、具体的な取り組みは、心に落ちるものがあり、これからの自分の行動の動機づけになったように思います。
- 大地をしっかり踏みしめて、日々の生活を送ってられる皆様から、元気をいただきました。

令和3年度 講座予定はこちら!

第1回：6月23日(水)
会場：長野県生涯学習推進センター(塩尻市)
「講座のオリエンテーションと講義」
各回コーディネーターによる地域と活動の概要紹介。
講師：(株)エンパブリック **広石 拓司氏**



第2回：7月14日(水) 会場：栄村小滝公民館
「持続可能な地域づくり」
震災からの復興をきっかけとした300年後も住み続けることを目指した地域づくりの取組を学ぶ。
コーディネーター：栄村公民館 主事 **島崎 佳美氏**



第3回：9月8日(水) 会場：上田市
「つながりの役割」
地域通貨ま〜ゆの取組に関わる方の活動を通じて、つながりの役割を学ぶ。
コーディネーター：蚕都クラブ・ま〜ゆ 代表 **安井 啓子氏**



第4回：12月1日(水) 会場：伊那市
「子どもたちと地域」 共に生きる地域づくり、子どもたちの育ちを地域で支える取組を学ぶ。
コーディネーター：伊那市社会福祉協議会
地域福祉コーディネーター **新美 亮介氏**



第5回：1月29日(土) 会場：飯田市南信濃
「若者と地域」
中山間地域で関係人口づくりに取り組む若者たちの取組を通じて、地域参加や次世代育成を学ぶ。
コーディネーター：南信濃公民館 主事 **宮田 浩司氏**



第6回：2月26日(土)
会場：長野県生涯学習推進センター(塩尻市)
「講座の振り返り」 講座の振り返りを講師と共に。公民館活動アワード・フォーラムを兼ねる。
講師：松本大学総合経営学部教授 **白戸 洋氏**



キラリ!

地域で活躍する公民館 [東御市公民館]



原澤 利明 館長

湯ノ丸高原に日本最標高(1,750m)に位置する高地トレーニング施設を設置し、アスリート育成の聖地を目指す東御市。今回は、東御市公民館の原澤館長と小松主事をご紹介します。



小松 祐基 主事

Q1 公民館勤務は、何年目になりますか？

館長: 1年目です。昨年3月までは、中学校長として地域に根ざした学校づくりに力を入れてきました。

主事: 月日が経つのは早いもので、平成24年1月に異動してきて、9年が経ちました。

Q2 運営するうえでどんなことを大事にしていますか？(運営方針)

館長: 「つなぐ・つながる」がテーマです。学校での経験を活かして、子どもからお年寄りまで広い世代が公民館に集い、活動を通じて地域の魅力を実感したり、世代を超えた連帯感を高めていけるような運営をしていきたいと考えます。

主事: 異動してきたばかりの頃は、公民館に来られた方の名前がわからずコミュニケーションで一步引いてしまうことがありました。それ以来、公民館を利用される皆さんの顔と名前を覚えることにしています。

Q3 やっていてよかったことは？(やりがい)

館長: コロナ禍にもかかわらず、明るく元気に公民館で活動する皆さんの姿が見られることです。活動の場を確保できてよかったと心から思います。「感染対策をこうすれば行事や活動ができる」というモデルを公民館から発信することが大切ではないでしょうか。

主事: 公民館は、いわゆる行政の仕事と違い、住民を身近に感じられる場所であるとともに、自分が計画した講座をイキイキと受講されている姿を見るとうれしいですし、やりがいを感じられる時です。

Q4 コロナ禍で困っていることはありますか？

館長: 行事や講演会など、人の集まる活動の実施の可否についてその都度検討が必要なことです。成人式も2度延期しました。(8月に実施予定)計画したものは、感染予防の徹底を前提に、可能な限り実施していきたいと思っています。



コロナ退散! サンドアートの「アマビエ」がお出迎え



2種類のメダカを飼育中
♪めだかの学校は・・・♪

来館者の心が和むように館内展示に工夫を凝らしています。



季節に合わせた展示
(12月はクリスマスバージョン)

Q5 最後に、センターへの要望などありますか？

館長: 魅力ある講座の企画ありがとうございます。社会ではリモートの有用性が実証され、奨励されていますが、公民館が大切にする「つながる」という視点では、今後も直接顔を合わせて研修ができることを希望します。

お知らせ

★令和2年度 研修講座DVDを貸出し中です。
地域づくり・学校運営にぜひお役立てください。
貸出しDVDの一部内容をご紹介します。

貸出しは無料ですので、
ぜひご利用ください!



持続可能な社会づくりに向けた教育の新しい在り方



R2-3
講義 「ESD/SDGs が育むつながりと持続可能な社会」
信州大学学術研究院人文社会学域教育学系 准教授
安達 仁美氏

R2-4
事例発表 「学校・家庭・地域をつなぐ わくわく村」
高山村立高山小学校
「学友林の整備を通じた世代間・地域交流」
塩尻市宗賀公民館

地球環境の異変をはじめ、世界には様々な課題が山積しています。これらはひとりひとりが理解して、行動につなげていく必要があります。

ESD(持続可能な開発のための教育)の考え方や、具体的な方策であるSDGs(持続可能な開発目標)の内容を学び、これからの学校教育や社会教育の場面で、「持続可能な社会」実現のためにできることはなにかを考えることができます。

運動遊びで体とこころを育てる



R2-5
実技 「“やる気・元気・根気”のコミュニケーション」
R2-6
講義・演習 「“見取り・聞き取り・やりとり”のコミュニケーション」

長野県レクリエーション協会
日本グループワークトレーニング協会 **犬飼 己紀子氏**

生活習慣の変化に伴い、子どもたちの運動頻度の減少が問題になっています。講義では「コミュニケーションにおける発信者と受信者間のズレ」についてや、「自己肯定・他者肯定の大切さ」を学びます。実技や演習では、どのようにコミュニケーション能力が育まれるかなど教育現場から職場まで、すぐに活用できる運動遊びやアイスブレイクを多数学ぶことができます。

(講座名)・「演題」	講師名
(共生社会の実現) R2-1 パネルディスカッション 「共生社会の実現～障害者視点で長野県の地域づくりを考える～」	東京都立大学人文社会学部社会福祉分野 教授 教授 杉野 昭博氏 他
(子育て支援に関する講座C) R2-2 講義 「子どもの命を愛しむ(おしむ)・育む 放課後子ども教室・児童クラブ」	千葉県 元学童保育指導員 元養護教諭 石田 かづ子氏
(公民館の現代的役割を考える) R2-7 講義 「公民館の現代的役割を考える ～“温故創新”草創期と今、そして未来をつなぐ～」 事例発表 「地域と子どもたちをつなぐエゴマ栽培」 事例発表 「子どもが自慢できる地域にしよう」	日本体育大学スポーツマネジメント学部 教授 教授 上田 幸夫氏 塩尻市広丘公民館 飯田市下久堅公民館
(防災！一瞬の判断と備え) R2-8 講義 「一瞬の判断と備え ～あなたは突発的な自然災害に対処できますか～」	兵庫県広域防災センター防災教育担当 田中 健一氏

★学びの達人(長野県生涯学習推進員)

指定の講座を受講し、一定条件を満たした方を「学びの達人」として認定し認定書・マナビィバッジを交付します。受講の都度、マナビィシールを差し上げます。



令和3年度 指定講座

- 5/20(木) 発達障害のある人は、どのような歩みをして大人になっていくのか
- 6/23(木) 地域づくりの支え手入門講座 第1回のみ(塩尻市)
- 8/24(火) “ともに生きる”を目指して
- 10/12(火) 地域と学校で取り組むSDGs
- 11/12(金) 長野県の子どもの自殺と現状と課題
- 6/8(火) 防災！一瞬の判断と備え
- 6/29(火) ネット社会に生きる子ども達の自覚と自立を目指して
- 9/21(火) 子どもの不安をケアする
- 10/27(水) 運動遊びで体とこころを育てる
- 11/20(土) どんなときも自分らしく生きる幸せ
- 11/26(金) 公民館の現代的役割を考える

★メール会員募集中!!

センターで開催する講座の案内をメールでお知らせします。詳しくは当センターのホームページをご覧ください。

長野県生涯学習推進センター

〒399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

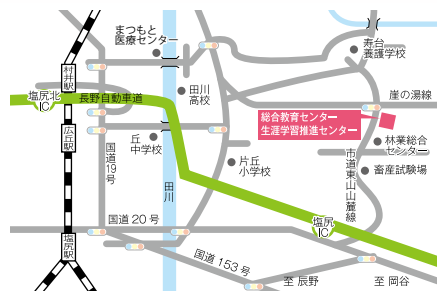
TEL 0263-53-8822 FAX 0263-53-8825

E-mail shogaigakushu@pref.nagano.lg.jp

ホームページ

http://www.pref.nagano.lg.jp/shogaigakushu/

■休業日/国民の祝日、土・日曜日 12月29日から翌年1月3日まで



センターへの交通案内

●JR利用
・JR塩尻駅から車で約20分
・JR広丘駅から車で約10分

●高速道利用
・長野ICから塩尻北IC経由約60分
・飯田ICから塩尻IC経由約70分